

■中学校実践事例

第1学年 保健体育科学習指導案

1 単元 心身の発達と心の健康

2 指導観

- 本単元は、学習指導要領保健分野2内容（1）心身の機能の発達と心の健康を受けて設定している。

中学生になると、身体の各器官が発育し身長や体重が増加していく。さらに、適度な運動や食事などによって、呼吸・循環機能も効果的に発達していき、外見も含めて限りなく大人に近づいていく。よってこの時期に、健康の保持増進を図るための基礎として、心身の機能は生活経験などの影響を受けながら年齢とともに発達することについて理解できるようにすること、また、これらの発達の仕方とともに、心の健康を保持増進する方法についても理解できるようにすることは意義深い。

特に、中学生の初期に当たる第1学年では個人差があり成長にばらつきがある。このことから身体機能の発達、生殖にかかわる機能の成熟を学習させ、あわせて性差や個人差があることを理解させるとともに、性に関する適切な態度を身に付けることは大変重要であると考ええる。

- 本学級の生徒は、全体的に素直で明るく、分からないことは積極的に聞こうとする姿がみられる。事前に行った性に関するアンケート結果では、性に関する情報は「友達から聞く」が37%、「テレビ」が25%、「携帯」が15%と信頼性がない入手経路もあるため、適切に選択できるように指導する必要があると考える。また、性に関する悩みが「ある」と答えた生徒は11%、「ない」と答えた生徒は88%であった。「ある」と答えた生徒の悩みは「異性への意識」が多く、今後、性的欲求への悩みができたり、「ない」と答えた生徒の悩みができたときどどのように正しく情報を選択し関わっていくとよいかを考えさせることが大切であると考ええる。
- これらのことより本単元の指導にあたっては、健康の保持増進を図るための基礎として、心身の機能は生活経験などの影響を受けながら年齢とともに発達することを理解させ、その発達も個人差があることを身近な事例などを用いて考えさせる場を設ける。特に「イ 生殖にかかわる機能の成熟」に関しては、前期の「育ちゆく体とわたしたち」で自分の心や体の成長や変化を学習していることから、中期ではさらに深めて自己だけではなく、他者との違いや変化を学習させ、異性を尊重する大切さや、異性との適切な関わり方について考えさせる場を設ける。

3 目標

- 心身の機能の発達と心の健康について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。（関心・意欲・態度）
- 心身の機能の発達と心の健康について、事例を基に課題や解決の方法を見付けたり、選んだりして、それらを説明することができる。（思考・判断・表現）
- 心身の機能の発達について理解したことを言ったり、書き出したりすることができる。（知識・理解）

4 指導計画（総時数10時間）

第1次	体の発育・発達	1時間
第2次	呼吸器・循環器の発達	1時間
第3次	生殖機能の成熟	2時間
第5次	性とどう向き合うか	1時間 [本時]
第6次	心の発達	2時間
第7次	自己形成	1時間
第8次	欲求不満やストレスへの対処	2時間

5 本時 平成29年6月14日（水） 5校時 1年□組教室

(1) 主眼

- 性情報への対処について適切な態度や行動の選択が必要となることを理解できるようにする。

(2) 本時の指導観

本時の指導にあたっては、「であう」段階では事前に行ったアンケートを基に、心の成長も個人によって違うことを気付かせる。「つくる」段階では班で交流し他者の考えを聞き、自己の気付きを書かせる。「ふかめる」段階では身近な性情報を提示し、性犯罪の事例を基に自分の考えを書かせる。「まとめる」段階では本時のまとめを書き全体場で表現させたい。

(3) 授業仮説

以下の手立てをとれば、生徒は性意識や性情報にどう向き合えばよいか、身近な事例から意欲的に考えたり表現したりすることができるであろう。

- ① 身近な性情報を提示し、性情報との望ましい関わり方について考えさせる。
- ② 事例を基に性意識の違いに関する立場討議を設定し、自己の意見を表現したり、班で意見交流させたりする。

(4) 学習過程

段階	学 習 活 動	教師の支援・留意点 (※評価)
であ う	1 事前アンケート結果を提示する。 ・性に関する悩みについて ・性に関する情報の入手方法について	○ 異性への関心が高まるのは自然なことであり個人差があることを理解することができるように、アンケート結果を提示する。
／ つ く る ／ ふ か め る ／ ま と め る	2 事例を基に性情報との望ましい関わり方を考える。 (1) それぞれの人がどのような行動をとるべきであったか、自分の考えをワークシートに書く。 (2) 班で立場討議する。 ・B子は勝手に「好き」と決めつけて言うべきじゃなかった ・D子はC男の前で言うべきじゃなかった など (3) 班で討議したことをまとめ、全体で交流する。 3 出会い系サイトに関係した中学生の被害数や被害例を基に、被害に遭わないためにはどうすればよいか考える。 4 本時学習を振り返る。 (1) 授業のまとめをワークシートに書き、全体で交流する。	○ 書けない生徒には、「A子に悲しい思いをさせたのは誰かな?」「O子はどうすればよかった?」などの補助発問を行い支援する。 ○ 責任ある行動について考えを深めることができるように、事例のそれぞれの立場に立って意見交流するよう促す。 ○ 自分の考えを深めることができるようにするために、事例に関してではなく、交流で気付いたことを書くよう指示する。 ○ 誤った性情報を選択しないように身近な危険性を提示する。 ※ 性情報との望ましい関わり方について見出すことができている。(ワークシート)
	まとめ 性情報との望ましい関わり方とは… ・興味本位の言動をせずにお互い気持ちを思いやる関係をつくること ・知り得た情報が信頼できるものなのかを判断し行動すること	

6 成果と課題

(1) 成果

- 身近な事例を基に自己の考えをもち、班で立場討議したことで、異性への関心が高まり、性意識の違いを生徒自らが気付き、適切な態度や行動選択ができた。

(2) 課題

- 現段階だけではなく、男女が相互に尊重し合い、協力して生きることの大切さが理解できるよう、今後を見据えての男女間の在り方や性の多様性も学習内容に取り入れていく。